

令和元年（平成 31 年）度 第 2 回学校運営協議会

令和元年 11 月 13 日

於 校長室

司会：教頭 書記：吉村

1. 校長挨拶

2. 会長挨拶

3. 協議項目（司会：会長）

（1）学校教育計画進捗状況について（校長より）

【本年度の取り組みについての説明】（※9月末時点まで）

I 確かな学力の育成と第一志望の進路実現

①アクティブ専門コースの充実

- ・アクティブ専門コースの次年度選択人数 50 名以上維持（評価指標）
⇒ 今年度の選択者数 スポーツコース 42 名、音楽コース 24 名。
- ・アクティブ専門コースで外部講師の講義・講習を 3 回実施。

②生徒のキャリア意識の向上を図る。

- ・一年生全員龍谷大学見学会を実施（7月）
- ・1, 2年生に e-ポートフォリオを導入。

③自学自習の習慣の確立と学習と学校行事や部活動の両立

- ・We b 予備校 70 名以上を維持（評価指標）
⇒ We b 予備校 75 名登録（7月）
- ・入学当初の学習オリエンテーション実施
⇒ 生徒アンケートによる肯定的意見 99.9%
- ・図書館の利用状況の活性化
貸し出し数、昨年比（H30 582 冊）5%増、目標約 611 人
⇒ 貸し出し数、775 冊（昨年比 33%増）
- ・自習スペースとしても積極的に利用されている。

【質疑応答】

委員：アクティブ専門コースに女子ソフトボールの生徒はいないのか。

学校：今年度は 0 名。中学校のソフトボール部が少なくなっているのも影響している。

委員：図書貸し出し数は、一部の生徒が借りて総数を押し上げているだけではないのか。

学校：生徒や教職員に積極的におすすめの本を紹介するなどの活動を行っており、1年生・2年生を中心に貸し出し数が伸びている。またクラス別貸出ランキング（1年）なども行っている。

II 豊かな社会性及びたくましく生きる力の育成

①生徒会活動の充実

- ・ CM(キャプテン、マネージャー)会議 25 回、クラブ総会 3 回 (評価指標)
⇒ 現時点で、CM(キャプテン、マネージャー)会議 9 回、クラブ総会 1 回実施。
- ・ 花壇：生徒会を中心に校門前花壇の花の世話をしている。夏休み中も水遣りをした。

②規律ある学校生活

- ・ 通学マナーの指導及び交通安全指導をさらに強める。特に自転車マナーの指導を強化する。
⇒ 教員が毎日立って指導を実施し、マナーの意識付けはできつつある。

③不和や対立を乗り越える豊かな人間関係を作る力の育成

- ・ LHR を中心として、効果的な人権教育・国際理解教育を展開する。
⇒ SNS の利用について (1 年生)、働くことの意味について (3 年生) を実施。

④開かれた学校づくり

- ・ 地元中学校運動部交流大会「香里カップ」や地域文化交流イベント「香里フェス」の開催数を増やす。計 5 部実施 (評価指標)
⇒ 「香里フェス」(11 月)「香里カップ」(12 月)等 実施予定。
その他、吹奏楽部の交流事業も継続的にあり、近隣から良い評価をいただいている。

⑤創立 40 周年事業の実施

- ・ 実行委員会を中心に、学校・保護者・同窓会の連携を強化して、創立 40 周年事業を実行する。
⇒ 実行委員会を定期的に開催し、11 月 1 日に式典・演奏会を実施した。
会場の変更などもあったが、関係者の皆様のご協力、ご好意により無事挙行できた。

【質疑応答】

委員：学校の花壇の様子ที่すばらしいが、誰が世話をしているのか。

学校：生徒会の生徒を中心に水遣りなどの世話をしている。担当教員もこまめに手入れをしている。
また、年に 2 回程度季節に応じた植え替えを行っている。

III 生徒の力をしっかり伸ばす学校力の向上

①危機管理対応等の充実。

- ・ 防災訓練を二回実施した。AED 講習会を生徒向け、教職員向けと二回開催した。

②円滑な組織運営と一丸となって課題に取り組む教職員集団づくり。

- ・ 経験の少ない教職員向けに「香里会」を実施する。
⇒ 今年度は毎週一時間実施し、現在までに 11 回実施。

③広報活動の充実

- ・ 中学生向けの学校見学会の実施
⇒ 第 1 回参加者 339 名参加。

・外部説明会の充実

⇒ 中学生・保護者向けの外部説明会に学校として4回参加した。
残り12月に1回。

(2) 創立40周年記念式典・演奏会について（教頭より）

※11月1日にザ・シンフォニーホールで挙行了した40周年の際に撮影した写真を、本校吹奏楽部生徒も参加して演奏した「七夕」の曲に合わせて委員に披露。

【質疑応答】

委員：創立40周年記念式典・演奏会に「友の会」よりお礼の言葉をいただく。

(3) 第1回授業アンケートの結果と、結果に対する各教科の意見について

①生徒アンケートの結果分析を提示。

【質疑応答】

委員：アクティブラーニングの利用法はどのようにしているか。

学校：授業時数の制限もあり大々的には行えていないが、一例としては授業の終わりに感想を書かせて、その内容を全体にフィードバックするようなやり方をしている。

委員：教師の年代別の人数比はどうなっているのか。

学校：本校の場合、20代、50代の教員だけではなく、40代の教員も一定数いるためバランスは良い。

委員：現在小・中・大とどの学校でも授業アンケートを行うが、数字があまり良すぎると改善が見つけにくくなるのではないか。

委員：生徒が課題を挙げても反映しにくくなる（少数意見が浮かび上がらない）。

(4) 来年度使用教科書について

・委員より承認いただく。

4. 校長より謝辞